



WEEKLY BULLETIN

2018-19

2018-19 President of Rotary International Barry Rassin
国際ロータリー第2660地区2018-19年度ガバナー 山本 博史



RI D.2660
箕面ロータリークラブ
Happy 50th Anniversary

2018-19年度 会長：片山 秀樹 幹事：林 たかみ 広報・会報委員長：黄堂 泰昌

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

<p>◆今週の例会プログラム◆ 2019年3月14日(木)第2411回例会 卓話：芝野弘三郎会員</p>	<p>◇次週2019年3月21日(木)休会日◇ ◆次々週の例会プログラム◆ 2019年3月28日(木)第2412回例会 卓話：山本貴雄会員</p>
<p>◇ロータリーソング◇ 奉仕の理想 ◇先週のお客様◇ 趙 雨桐 様 (米山奨学生)</p>	<p>◆出席報告2019年3月7日(第2410)回例会◆ 会員数：30名 出席者：20名 出席率 76.92% 前々前回 2019年2月14日 76.92%</p>

◆会長挨拶◆ 会長 片山秀樹

皆様こんばんは。3月は「水と衛生」月間です。日本は水と安全はタダといいますが何と幸せな国でしょうか。何時でもきれいな水が手に入り、のどが渴けば水道水をそのまま飲む。水洗トイレも当たり前になり我々が子供のころと比較して衛生面でも非常に進みました。統計を調べてみますと上水道の普及率は1950年では普及率はわずか25%程度でしたが1960年代に過半数に届き、1970年代で8割、1980年代で9割に達するまでになっています。近年では98%に到達しています。また、下水道についても80%弱まで整備が進んでいます。

ガバナー月信によりますと世界では衛生的なトイレや水設備が利用できない人が25億人もいるようで、世界の人口の約1/3の人々が不便な状態で生活しています。そして、衛生設備や安全な水の欠如が原因となり、毎日1,400人の子どもが命を落としているようです。渴きで亡くなる人は少ない一方、水を介する疾病で亡くなる人は何百万にもものぼると言われています。

国際ロータリーでは「水と衛生」を6重点分野の一つに取り上げ、ロータリー財団事業としても推進されています。箕面ロータリークラブとして直接的に事業は行うことはなっていますがロータリー財団に寄付をすることにより間接的に協力することが可能です。皆様のロータリー財団へのご協力をお願いいたします。

◆幹事報告◆ 幹事 林 たかみ

【理事役員会報告】

審議事項

- ・大阪中央RC35周年記念式典について
→幹事が式典のみ出席(例会日のため)
- ・50周年記念事業について
→式典のタイトル、お土産、写真、詳細等について承認
記念誌と記念碑について進捗状況が報告された。
- ・35才以下の会員の第4期会費納入について
→山本貴雄会員の第4期会費免除を承認
- ・趙さんへの着物について
→クリーニング代の支払いを承認

報告事項

- ・2月28日の戦略計画委員会についての報告
例会回数について
例会の多用化
奉仕活動の見直しなど
- ・財務ルールに関して地区からの回答について報告



堀之内良光会員 入会式

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか 2、みんなに公平か 3、好意と友情を深めるか 4、みんなのためになるかどうか

◆SAA報告◆

SAA 芝野弘三郎

ニコニコ箱

青 敬祐会員：孫娘が北海道大学医学部に合格しました。（一浪しました）

岡内重信会員：山下会員卓話楽しみです。

山下恵司会員：本日卓話させていただきます

上島一彦会員：山下先輩、卓話を楽しみに致しております

芝野弘三郎会員：堀之内様入会おめでとうございます。

庄司修二会員：卓話よろしく

黄堂泰昌会員：月初につき

西宮富夫会員：山下会員卓話よろしく

前田建司会員：山下会員、卓話楽しみです。宜しくお願いたします。

新入会員堀之内様ようこそ！

山本貴雄会員、三上智子会員、河野優作会員、片山秀樹会員

米山奨学会

川端崇且会員：雨ちゃん、お元気で

芝野弘三郎会員、河野優作会員、庄司修二会員、黄堂泰昌会員、上島一彦会員、前田建司会員、岡内重信会員

ロータリー財団

芝野弘三郎会員、河野優作会員、林たかみ会員、黄堂泰昌会員、上島一彦会員、前田建司会員、山下恵司会員

◆米山奨学生レポート◆

趙 雨桐

多数の中国人学生の中、私は普通な一人だと言える。誰かに認めてもらいたい。勉強が大好きだが、試験に苦手で、誰から注目されず、平凡の学生時代を終わってしまった。

日本に留学してくることがきっかけだと思い、本当の自分を探し出し、もっと自信を持つようになった。

留学のこと、お父さんから大反対された。「帝大でなきゃ、他の大学を考えもしないで」と言われた。自分も気が進まなくて、「帝大に行ってみせる」と心の声が出た。仲介会社を雇うお金がなく、自分でゼロから研究室を探し、連絡した。幸い、今の教授先生が私を受け入れて、興味のあるがんについての研究もできた。自分が研究に対する熱意を認めてくれた。

正式生になってから、奨学金を申請し続けた。ロータ

リー米山奨学金が中国人留学生の間ですごく有名で、自分は奨学生になれるかと心配していた。他人に負けない研究成果があると考え、自分を励ました。最後に自分の予想を超えて、面接官が私の努力を認めてくださった！

ロータリー奨学生になって、箕面世話クラブに入った。研究生活が忙しくて、ロータリアンたちに迷惑かけるのも良くないと考え、例会は月一回しか行ってなかったが、毎回の例会を本当にすごく楽しみにしていた。一番感動したのは、例会開始前の挨拶と自分の卓話、または奨学金をもらった後の一言の時間だ！ロータリアンたちが優秀で忙しい、ご飯の時でも仕事について物事を考えると思った。しかし、みなさんが自分の話をちゃんと聞いてくださった！みなさんが自分のことを認めてくれた！

認めてくださったこと、心より感謝します！「世の中には偶然がない、あるのが必然だけ」、以前アニメを見たときこういうセリフがあった。努力すれば、自分の存在を認めてくれる人たちが絶対にいる！成績とかどうでもいいと言い過ぎだが、もっと遠い未来を見て、胸を張って、自信を持って歩くべきだ！留学しに来てよかった、奨学生になってよかった！



※お詫び：山下恵司会員の卓話内容は、次号に掲載します※